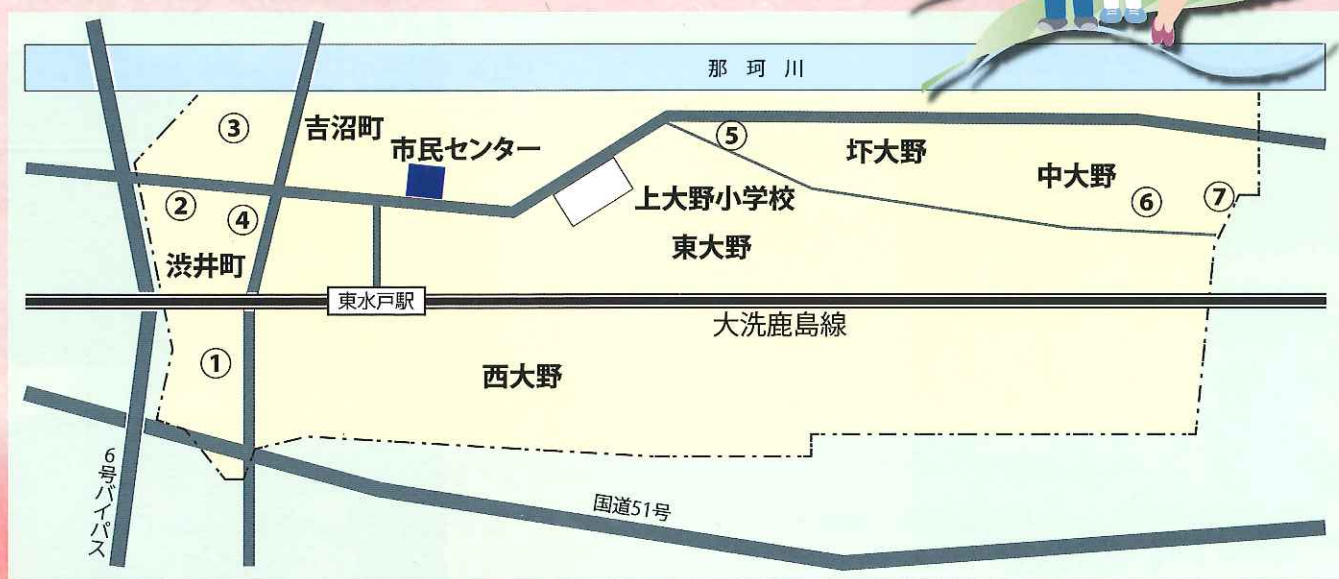


# みんなで築こう 住みよい上大野

## 上大野地区コミュニティプラン



近年の核家族化に伴い、家庭と地域社会との繋がりや近隣との関係が希薄化しつつあります。次世代を家庭と地域が共に育むという従来から地域社会が有していた機能が低下したとも云われ、町内会・自治会の活動に参加する頻度も低くなってきています。その要因として少子高齢化の進行による地域の活力低下が挙げられます。

地域社会の再生には、地域住民の全てに何らかの形で関わる場所が必要です。それらを通じて地域社会の融和と人と人との絆の増進を図るコミュニティプランが大切です。

平成 23 年の東日本大震災の未曾有の体験を基に、住民相互の連携を強め、一人ひとりが人の痛みを感じる心豊かな人間性を育み、誰もが健やかで豊かに暮らしていけるような「安心・安全」な地域社会を目指します。

住みよい上大野をつくる会





# I. 美しい環境のまち

## 1. 住みよい環境

- ☆①子ども会等の花壇等花いっぱい運動の推進  
(既存事業の充実促進を図る)
- ☆②資源物の分別収集の実践  
(資源物の分別を各町内等呼びかける)
- ③ごみの減量化(エコクッキング・コンポストの活用)  
(各家庭に市よりコンポスト購入補助金等の広報を行う)
- ☆④違反広告物撤去の実施  
(既存事業の充実促進を図る)
- ⑤温暖化防止の推進  
(市からのこつこつプランなど具体的な広報を行う)

## 2. 町内会の協力

- ①クリーン作戦の実施  
(毎月第1日曜日のクリーン作戦を復活させる)
- ☆②神社等の清掃活動  
(既存の活動を三世代等に広める)
- ☆③ごみの不法投棄並びにポイ捨ての減少  
(ポスターの掲示・不法投棄委員へ連絡する)
- ☆④リサイクル運動の推進  
(町内会を通して各家庭に呼びかける)

## 3. その他

- ☆①外国人へのごみの出し方の情報提供  
(外国人家庭へ個別に対応する)
- ☆②下水道整備への要望  
(未整備の地区を市に呼びかける)
- ③東部公園の早期整備への要望  
(市民懇談会等で市に呼びかける)
- ④エコロジー講座の開催  
(市の出前講座制度を利用する)
- ⑤エコロジーな生活運動の推進  
(市のエコオリンピックへ参加する)

☆は、実施中の事業



子ども会花壇



小学校の自然観察



小学校のクリーン作戦



町内会による資源物の分別





## Ⅱ. 安全・安心なまち

### 1. 防災対策

- ①河川の整備への要望  
(市民懇談会等で市に呼びかける)
- ②防災無線の設置への要望  
(各家庭に設置要望・FMぱるるん76.2MHzの利用)
- ③水害対策・堤防の未整備区の要望  
(市民懇談会等で市に呼びかける)
- ☆④火災警報器設置の推進(減災対策)  
(各家庭に呼びかける)
- ☆⑤地域住民対象の防災訓練の実施(減災対策)  
(年1回実施する)

### 2. 防犯対策

- ☆①青パト・自警団への住民参加促進  
(自警団の保険加入を勧める)
- ☆②防犯灯の小まめな整備  
(各町内会に呼びかける)
- ☆③東台防犯連絡員協議会との連携協力  
(既存事業の充実促進を図る)
- ☆④詐欺被害の防止対策の実施  
(見守り隊、民生委員、警察、住協との連携・講座の実施を図る)

### 3. 事故防止対策

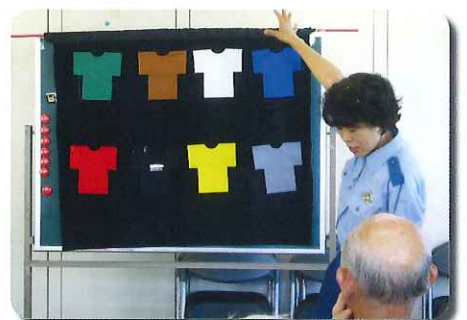
- ☆①高齢者の交通事故防止研修会の実施  
(地区内の高齢者全員に呼びかける)
- ☆②通学路の安全点検の実施(小学校との連携協力)  
(既存事業の充実促進を図る)
- ☆③立哨指導の充実(小学校との連携協力)  
(既存事業の充実促進を図る)
- ☆④スクールガードとの連携(小学校との連携協力)  
(既存事業の充実促進を図る)
- ⑤セキュリティー講座の開催  
(市の出前講座制度を利用する)



第10分団の活動



町内会自警団



高齢者の交通安全研修



小学校での交通安全教室





# Ⅲ. 絆を深め合うまち

## 1. 町内会への参加

- ☆①町内会への加入促進(未加入対策)  
(未加入世帯へ上大野地区の広報紙で呼びかける)
- ☆②町内会行事等への参加促進  
(町内会役員向けの研修会を実施する)
- ☆③魅力ある町内会づくりへの支援  
(町内会役員向けの研修会を実施する)
- ④町内会各班への親睦事業の支援  
(町内会役員向けの研修会を実施する)

## 2. 各種行事への参加

- ☆①ソフトボール・バレーボールへの参加促進  
(各町内会へ参加促進を図る)
- ☆②市民運動会への参加促進  
(各町内会へ参加促進を図る)
- ③郷土史講座の開催  
(市民センター開設に合わせて上大野郷土史講座を開催する)
- ④成人教養講座の開催  
(市民センター開設に合わせて成人教養講座を開催する)

## 3. ボランティア活動への参加

- ☆①美化運動への参加促進  
(既存事業への参加を呼びかける)
- ②伝統文化の継承への促進  
(上大野郷土史講座に組み込む)
- ☆③福祉活動への参加促進(福祉施設への慰問等)  
(社協支部活動への支援・呼びかけを行う)
- ④ボランティア育成講座の開催  
(市の出前講座制度を利用する)

☆は、実施中の事業



子ども会みこし



地区球技大会



市民運動会



ふれあい上大野まつり





# IV. ささえ合うまち

## 1. 子育て支援

- ☆①子ども会の充実(合併等)への支援  
(少子化に伴い活動維持のため合併への検討を行う)
- ②三世代の交流行事の実施  
(復活事業として小学校との共催や社協・行政及び大学後援による活動を行う)
- ③子育て相談・子育て見守り隊への支援  
(保健推進員との連携事業を起こす)
- ④子育て学級の開催(小学校の後援)  
(市民センター開設に合わせコミュニティルームを活用する)

## 2. 後継者支援

- ①地産地消(地元生産 地元消費)の推進  
(地域経済活性化、食料自給率の向上に繋がる運動を行う)
- ②地域後継者の交流(クラブ活動等)の支援  
(市民センター開設に合わせクラブを開設する)
- ③地区会にて中堅幹部の育成、起用  
(①②の活動を通して育成、起用する)
- ④各種団体へ中堅幹部育成の要請  
(各種団体に呼びかける)

## 3. 高齢者支援

- ☆①一人暮らし高齢者の見守り活動支援  
(社協・民生委員との協働事業を起こす)
- ☆②高齢者の集会参加の支援(幸齢者大学・交通安全研修)  
(既存事業の充実促進を図る)
- ☆③福祉施設(ユーアイ村等)との交流  
(既存事業の充実促進を図る)
- ④高齢者クラブ設立推進  
(各町内に呼びかける)

☆は、実施中の事業



三世代の交流行事



敬老会アトラクション



敬老者の皆さん



幸齢者大学



女性学級



## ■上大野の沿革■

上大野地区は、水戸市の東部に位置し、渋井町・吉沼町・東大野・西大野・坏大野・中大野・若宮町の一部から構成され、小学校は上大野小学校と浜田小学校区に分かれ、上大野の子供たちは水戸市立第三中学校で一緒になります。

北には那珂川が雄大に流れ、南は田園が広がる自然の多い地区です。秋には米・那珂川の鮭、冬には吉沼の白菜が取れます。中心に近いところに鹿島臨海鉄道の東水戸駅があり、隣接の東部浄化センター計画跡地については、今後の土地利用が大きな課題となっておりますが、目下、一部を多目的広場として暫定活用のための整備が進められています。

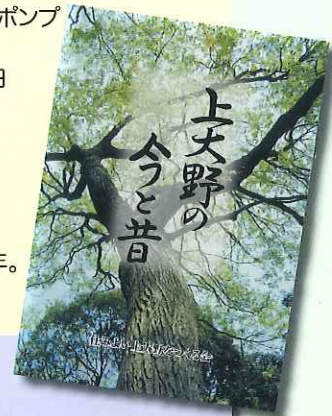
上大野村は吉沼・東大野・西大野・坏大野・中大野・渋井・細谷・浜田の八カ村が集まって一村となったものであり、かつての常陸国那珂郡吉田の郷で文政年間には茨城郡に属し明治 11 年郡区の制によって東茨城郡となった吉沼村は昔、葦沼を開いて田としたところから吉沼といいました。曠漠（こうばく）たる原野で大野村といわれ渋井・細谷・浜田はそれぞれ独立した村でありました。明治 11 年郡区編成により六村と坏大野・中大野・下大野三村と行政区を異にした明治 22 年従前の八村を分合し上大野村となり、明治 27 年 4 月 1 日浜田・細谷の一部が水戸市に編入されました。

その後、昭和 27 年緑岡村と上大野の一部が水戸市に編入し、昭和 30 年上大野・柳河・渡里・吉田・酒門・河和田の各村が水戸市と合併しました。

この合併について上大野村としては当時村民の意向は、浜田・細谷においては殆んどが合併賛成でありましたが、吉沼・渋井は 50%、大野方面は大半が反対であり村議会としても処置方に苦勞し遂に 27 年 4 月は細谷・浜田の分村合併と決め、残る渋井・吉沼・大野地区は更に村内意見を集約するとともに政令の期限内に合併することにして全村合併の準備等を完了し昭和 30 年 4 月全村合併が実現しました。

## ■年 表■

年月日	こと ごと
S.13. 6.29	県下大洪水、那珂川はんらん、水府橋を残して、橋は全部流失。当地区も床上、床下浸水の大被害。
S.16. 3	上大野尋常高等小学校を国民学校と改称した。
S.16. 7	県下大洪水、那珂川はんらん、床上、床下浸水の大被害
S.20. 7.18	艦砲射撃の直撃弾により、吉沼地内は 21 名の死者を出し、戦場と化した。
S.20. 8. 2	米機B29の焼夷弾攻撃を受け、渋井、吉沼地内で、死者 1 名、28 戸の全焼家屋が出た。
S.20. 8.15	終戦、太平洋戦争終る。
S.22. 9.12	キャスリン台風で那珂川はんらん。
S.23. 9.15	アイオン台風で那珂川はんらん。
~16	大半が床上、床下の大被害。
S.25	JR常磐線に沿って桜川改修工事竣工。
S.27. 4. 1	上大野村の一部(細谷、浜田)と緑岡村全体が水戸市に合併。
S.30. 4. 1	隣接村が水戸市に合併(上大野村、柳河村、渡里村、吉田村、酒門村、河和田村の一部)。
S.32. 4. 1	学校統合により、上大野中学校は三中に統合され、廃校となった。
S.40.11. 3	第 1 回上大野地区市民運動会実施(以後毎年実施)。
S.42. 4.30	上大野小学校に初の防音校舎できる。
S.45	国道 6 号バイパス開通。
S.47	上大野小学校体育館完成。
S.60. 3	上大野小学校創立 100 周年記念式挙行。 鹿島臨海鉄道水戸～北鹿島間開通、同時に吉沼地内に東水戸駅(無人化)設置。
S.61. 8	台風 10 号により那珂川はんらん。
H. 2. 3	桜川下流に吉沼町と若宮町を結ぶ「新さくら川橋」完成
H. 8. 5	水戸市住みよいまちづくり推進協議会設立。
H.10. 8	台風(豪雨)により那珂川はんらん。
H.10.10	「住みよい上大野をつくる会」名で「那珂川のはんらんに対する要望書」を市長と議長に提出。
H.13. 3.30	上大野地区新川に逆流防止の樋門設置される。
H.14	台風 6 号による河川の増水(戦後 3 番目の水位、水府橋で 8.24m まで上昇)。
H.16. 3.31	上大野地区新川に内水排水ポンプ設置される。
H.16	年度中に「直轄河川災害復旧等関連緊急事業費」による築堤は一部分を残して、ほぼ形が出来上がった。
H.17. 7	上大野市民運動場完成。
H.23.3.11	東日本大震災。
H.25. 6	上大野小学校創立 140 周年。
H.26. 9	新市民センター完成予定。



① 渋井町 鹿島神社



② 渋井町 正暦寺福徳弁財天



③ 吉沼町 吉田神社



④ 吉沼町 吉沼千住観世音堂



⑤ 東大野 香取稻荷神社



⑥ 中大野 香取稻荷神社



⑦ 中大野 長泉寺観音堂

※表紙地図の番号は、神社等の位置を表す